

なぜなに? やま・もり

山や森についてもっと知ろう!

松林を守るためには?

松林は海岸付近に多く見られ、海から吹く風や、海岸より飛んでくる砂から家や畑の作物を守っています。これらの恩恵は松林を適切に手入れすることで発揮されます。今回は、この松林を守る手入れについて簡単に紹介します。

- 1 松の木が混み合うと光が十分当たらずに弱った松の木、生長の良くない松の木が出てきます。

- 2 弱った松の木は病気(松くい虫)にかかりやすくなり、病気にかかった松の木は枯れてしまいます。

- 3 弱った松の木、病気になった松の木を伐ること、他の松の木の生長を良くしたり、病気の流行を防ぎます。

- 4 ③の手入れを続けることによって、健全な松林を守り育てています。


このように人が手入れをすることによって、松林は健全な状態を保ち、みんなの生活を守っています。
未来の森林を守るため今、みんなができることについて考えてみませんか。

※山形県では「やまがた緑環境税」を活用して、手入れの遅れた森林を整備しています。

企業だって 森づくり♪

ぐるっと花笠の森【米沢】 米沢信用金庫 編



米沢信用金庫 鏡 勝彦さん

〇米沢信用金庫について

米沢信用金庫は大正15年11月創業以来、協同組織に基づく地域唯一の本店金融機関として、お客様お一人お一人を大切にす地元のしんきんを旨指して役員が明るく積極的に働いています。東北中央自動車道の開通によりアクセスも向上。この機会に是非、愛と義「上杉の城下町」へお越しください。



記念写真



ベンチ制作



ベンチの設置

金庫が「ぐるっと花笠の森【米沢】」の名称で活動しています。元々、この名前は「ぐるっと花笠ネット」というATM相互利用サービスの他、様々な面で地域の発展に向けた連携を行っており、これが名前の由来になっています。

「ぐるっと花笠の森【米沢】」は、平成22年から米沢市万世町の稲荷山の麓で活動をスタートしました。このあたりはアカマツが多いのですが、当時は松くい虫の被害などにより森林の荒廃が進んでいました。地元の森林組合から危険な枯れ木を伐り倒してもらい、活動場所を確保するなどお世話になりながら、植栽や下刈りなど森の手入れを続けています。

広葉樹を植栽した当時は苗木がまだ小さく、年に2回の刈



フォトフレーム制作



恒例の芋煮!

平成30年度の活動は、生憎の雨で森づくり活動が出来ませんでした。加者それぞれのアイデアを生かして楽しい時間を過ごしました。木材でベンチを制作し、後日「ぐるっと花笠の森【米沢】」の遊歩道の脇に設置しています。また、流木などを使ったフォトフレーム作りもしました。私達の森づくり活動の成果を感じています。

〇今後について

今後は、まだ手入れが行き届いていない地区の森づくりや、きこ栽培なども検討しています。これまで多くの方々にスタッフや講師としてサポートしていただいていた活動を続けてもらえました。こうした皆様に感謝しながら、そして時に楽しみながら、これからも企業として森づくり活動による社会貢献を進めていきたいと考えております。

★やまがた緑の森づくり推進事業★
企業などと森林所有者と県との三者協定による森づくり活動。
令和元年6月末現在、38企業・団体、34箇所で開催中。

読者プレゼント

ラウンジチェアを10名の方にプレゼントします。詳しくはP.11をご覧ください。